

□■養成所ニュースプラス第1号 2023□■

第35期生の皆さん、メルマガ「養成所ニュースプラス」の登録ありがとうございます。今週からスタートです。当養成所での学習や国家試験に関する情報をお伝えしていきます。

「Plus Quiz」では、国家試験の過去問から出題していきます。国家試験の実際の問題を体験してください。1回目の今回は、4年ぶりに出題された石井亮一を取り上げます。「Plus Column」では、レポート作成講座をお届けします。2年生もお付き合いください。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【第35回問題 25】近代日本において活躍した福祉の先駆者に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 石井十次は岡山孤児院を設立した。
2. 山室軍兵は家庭学校を設立した。
3. 留岡幸助は救世軍日本支部を設立した。
4. 野口幽香は滝乃川学園を設立した。
5. 石井亮一は双葉幼稚園を設立した。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(34期生) 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・(35期生) 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(35期生) 見込書類(実務経験証明書)のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第36回国家試験は、令和6年2月上旬です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1063875&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
※申込開始は、令和5年6月1日を予定していると案内されています。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1063876&c=3246&d=99c7>

■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1063877&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1063878&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【レポート作成講座第1号／スケジュールを管理する】

第35期生の皆さん、入学後のテキスト学習は進めていますか。働きながら学ぶ皆さんにとって、テキストの精読とレポート29本（実習必要者は、更に2本のレポートと実習ノートの作成）は相当の負担だと思います。国家資格への道は険しく長い道のりです。

お伝えしているように、2週間でテキストを読み込み、課題にそったレポートを作成するという作業を続けます。既に4週間が過ぎようとしています。まだ、取りかかっている方は、今晚からテキストを読み始めましょう。

スケジュール管理は、テキスト学習だけの問題ではありません。5学期のレポート作成が終われば、国家試験準備に切り替えます。やるべき内容が終わらなければ結果はついてきません。

最後に、これまでの第35期生からの問い合わせを共有します。ひとつ目は、レポートの提出時期についてです。当養成所では、学期ごとに提出期間を設定しています。いつでも提出できるということではありませんのでお気を付けください。

ふたつ目は、レポートのワード様式の件です。引用・参考文献欄やその下の科目名や氏名の記入欄に印字が難しい場合は、手書きで構いません。

また、例年、印字のずれの問い合わせがあります。文字ずれの理由のひとつに数字やアルファベットが明朝体以外の字体になっている場合があります。確認してみてください。

以上の点は、「受講の手引」14・22・26ページに示しています。今一度確認していただくとともに、全体の精読をお願いします。

次回は、1学期のレポート課題の留意点を確認します。入学オリエンテーション動画でも1学期6科目のポイントを共有しています。まだ、視聴していない方はお急ぎください。

【Plus Quiz 正答と解説】

石井亮一については、「入学案内ガイダンス」や「入学オリエンテーション」でも紹介しました。胸像や写真と記憶するというのも想起しやすくする工夫です。

さて、これから皆さんは、多くの先駆者とその業績を学ぶことになります。受験参考書には、22回から34回国試までに204人が出題され、82人が複数回出題されたとありました。記憶することを考えると、気が遠くなってしまいます。人名はやみくもに覚えるのではなく、ソーシャルワークの発展過程の中で覚えていくこと、名前から業績を思い出すこと、業績から名前を思い出すこと、この作業が重要です。

「軍平の救世軍」程度であればよいのですが、何を覚えるための語呂合わせかわからなくなることもあります。今は、発展過程の中で業績を理解していきましょう。重要な人物は、複数の科目で登場します。

今回は、もうひとつ、作問の形をお伝えします。この問題は、人名と業績が想起できれば、正解できるものです。そして、正しい選択肢の一部を他の選択肢の一部と取り替えて、誤った選択肢を作る作問でもあります。このような問題では、石井亮一と滝乃川学園、山室軍平と救世軍の知識があれば、4つの選択肢が誤りであることが分かり消去できます。

過去問にあたることは、頻出問題を理解することに繋がります。理解のためには、正解を覚えるのではなく、誤りの選択肢をどうすれば正解になるのか考えることです。毎回皆さんには伝えていこうと思います。

1. ○1887（明治20）年設立の岡山孤児院では、無制限収容や小舎制が実施され、乳幼児や病児を近隣の農家に里子に出す委託制度なども取り入れられました。
2. ×山室軍平は救世軍日本支部において、セツルメント運動の他に刑務所出所者の保護や廃娼運動、婦人保護、無料宿泊所等の組織的活動を展開しました。

3. ×留岡幸助は、監獄の教誨師の経験から犯罪の芽が幼少期に形成されることを学び、1899（明治22）年、私設感化院として非行少年のための家庭学校を設立しました。

4. ×野口幽香は、幼稚園教育を貧困家庭の子どもにも拡大することをめざし、双葉幼稚園（現在の双葉保育園）を1900（明治23）年に設立しました。フレーベルの理念に基づく教育が行われました。

5. ×石井亮一は、1891（明治24）年の濃尾大地震の被災児・者の救済活動を行い、同年、聖三一孤女学院を設立しました。1897（明治30）年、滝乃川学園に改称し、日本で最初の知的障害児施設となりました。

※石井亮一は、第26回、30回の「相談援助の理論と方法」でも出題されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus